

事業の特徴



1. エージェンティック・ナレッジ・オーケストレーション — AIワークフローのためのドキュメンテーション基盤

Docsieは、企業が人間のユーザーとAIシステムの両方に対応するドキュメントを作成・管理・提供できるようにする。



2. AIによる動画からドキュメントへの変換

動画コンテンツを自動的に構造化された文章ドキュメントに変換。AIが製品デモ、トレーニング動画、チュートリアルを解析し、製品マニュアル、ユーザーガイド、手順書などのフォーマット済みドキュメントを生成する。



3. 企業向けマルチテナント・ドキュメンテーションポータル

単一のプラットフォームから複数のクライアント、パートナー、地域オフィス向けにホワイトラベルのドキュメンテーションポータルを提供。カスタムドメイン、SSOおよびJWT認証、細かい権限設定、多言語ドキュメント、バージョン管理、全ポータルにわたる集中型分析に対応している。

マッチングニーズ

求める 都内企業像

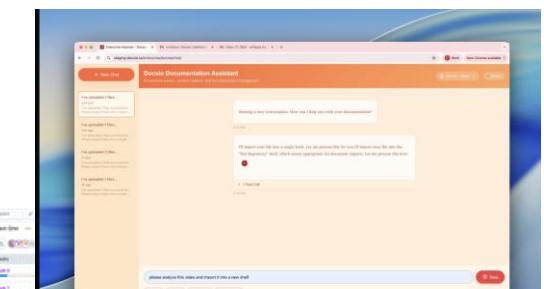
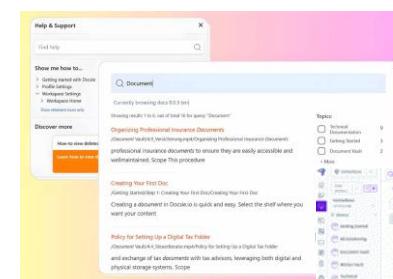
- トレーニング動画を文章ドキュメントに変換する必要がある企業
- パートナーや販売代理店と安全にドキュメントを共有する必要がある企業
- 製品やサービス向けのナレッジベースサイトが必要な企業

実現 したいこと

- 販路拡大・パートナー探し**
- 既存の日本のクライアントからのフィードバックを受け、同社は東京オフィスを通じたサポートを提供するとともに、既存クライアントを活用し、製品アップデートを提供することで、東京および日本全国での顧客基盤の拡大を目指す。

事業概要（サービス／製品）

- 世界中で5,000社以上の企業にサービスを提供するAI搭載ドキュメンテーションプラットフォーム。動画を文章ドキュメントに変換（作業時間を60～80%削減）、ナレッジベースからAIチャットボットを作成（サポートチケットを40～60%削減）、マルチテナントのホワイトラベルドキュメンテーションポータルを開発する。
- 主な機能：動画からドキュメントへの変換、AIチャットボット生成、多言語翻訳（100以上の言語対応）、マルチテナントポータル管理、バージョン管理、企業向けセキュリティ（SSO/JWT認証）。
- 対象業界：製造業、テクノロジー、製薬業、ならびに多言語ドキュメント、パートナーポータル管理、コンプライアンス監視を必要とするグローバル企業



事例

実施概要

企業向けコンサルティング会社のマルチクライアント用ドキュメントーションポータル

- 50社以上の企業クライアントを持つ経営コンサルティング会社が、各クライアント向けに独自ブランドとSSO認証を備えたホワイトラベルのドキュメントーションポータルを開設。クライアントのオンボーディング用ドキュメント作成時間を65%削減し、分散チーム間での安全なナレッジ共有を実現した。

詳細

関連URL

詳細：<https://www.docsie.io/>

実施概要

製造業向け動画トレーニングの文章化・ドキュメント変換

詳細

- 産業機器メーカーが200本以上のSAPトレーニング動画を、日本語・英語・ドイツ語の多言語ドキュメントに変換。ドキュメント作成期間を4か月から3週間に短縮。ディストリビューター向けにAIチャットボットを導入し、技術サポートチケットを50%削減した。



関連URL

詳細：<https://www.docsie.io/solutions/ai-chatbot/>

会社概要

業種分類：AI×情報通信

HP：
<https://www.docsie.io/>



日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	可
日本での検討状況	東京のAHQ特区における日本法人の正式設立を2026年3月までに完了する予定		
その他			

会社概要

社名	Likalo Limited (Docsie)		
会社HP	https://www.docsie.io/		
所在地	 カナダ		
設立年	2016	従業員数	10名
資本金	—	出資	—
主な事業内容	・技術文書の作成・管理向けAI駆動プラットフォーム ・動画からドキュメントへの変換、AIチャットボット生成、マルチテナントポータルシステム ・多様な文書タイプの作成・管理をサポートし、ユーザーの生産性向上を実現する		
事業パートナー ・主要顧客	Fellowmind (ヨーロッパのMicrosoftパートナー) North Highland (経営コンサルティング) PowerFlex (EDFリニューアブル部門) AddSecure (ヨーロッパのIoTセキュリティ)		
海外展開状況	アメリカ		
資金調達実績	Private (Crunchbaseより) ※既に黒字化しており、外部からの調達は不要とのこと		